

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【公表番号】特表2010-514870(P2010-514870A)

【公表日】平成22年5月6日(2010.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2010-018

【出願番号】特願2009-543430(P2009-543430)

【国際特許分類】

C 08 J 3/00 (2006.01)

【F I】

C 08 J 3/00 CES

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月3日(2010.12.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(1) 重合反応器から排出されるポリオレフィンを飽和水蒸気の対向流と接触させて、該ポリオレフィンから気体を除去し且つ該ポリオレフィンの粒子上に凝縮水蒸気を形成し；

(2) 乾燥不活性ガスの対向流を用いてポリオレフィン粒子を乾燥し、該乾燥不活性ガスの流れによってポリオレフィン粒子を流動化状態に保持し、該凝縮水蒸気の蒸発によってポリオレフィンを冷却する；

ことを含み、

前記工程(1)における該ポリオレフィンの滞留時間が10～45分の範囲である、  
1種類以上の-オレフィンの重合によって製造されるポリオレフィンの仕上げ処理を行う方法。

【請求項2】

工程(1)に供給される該飽和水蒸気の量がポリオレフィン1000kgあたり30～150kgの範囲である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

飽和水蒸気の量がポリオレフィン粒子上に凝縮する水蒸気の量の少なくとも50重量%過剰である、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

該ポリオレフィンが工程(1)の容器を通して「栓流」状態で下降する、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

水蒸気処理工程(1)を95～120 の温度及び1～4barの圧力で運転する、請求項1に記載の方法。